

回復期病棟への入院を検討されている患者様、ご家族様へ

神立病院回復期リハビリテーション病棟の特色

神立病院回復期リハビリテーション病棟では患者様に有意義な時間を過ごしていただくために様々な取り組みを行っています。

チーム医療

回復期リハビリテーション病棟では **365日**休みなくリハビリテーションを実施しています。自宅退院を目標に医師、看護師、ケアワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士などの**多職種が連携して**集中的なリハビリを行います。また、トイレや着替え、入浴、食事など日常生活動作をリハビリとして行う**生活リハビリテーション**を通してご自分の力で日常生活を送ることができるようにしていきます。

家屋評価

退院前に必要に応じて**ご自宅を訪問**し、自宅環境の確認をします。階段昇降動作や自宅での歩行、日常生活動作の確認を行い、手すりの設置やベッド利用の検討などを行っています。

趣味活動

花植えや野菜づくりなど入院前から行っていた活動から、裁縫やコースターづくりなど退院後も続けられるような趣味活動の提供を行っています。



早朝リハビリ

早朝リハビリは、朝7時から歩行の様子や生活の様子を見ることで、起きたばかりで身体が動きづらくないか、ふらつかないかなどの確認を行い、日中との差も確認しています。

グループ訓練

月に2回程、6-10人のグループで活動を行い、認知機能へのアプローチ、離床機会の提供や役割の獲得を行っています。活動内容は身体を動かすものから連想ゲームなどの頭の体操まで行っています。



このような活動を通して、自宅退院を目指し365日リハビリテーションを行っています。